

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DBC本社ビル 新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府池田市満寿美町739番1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2017年11月10日
敷地面積	1,047㎡	作成者	高嶋 宏昌
建築面積	621㎡	確認日	2017年11月10日
延床面積	2,786㎡	確認者	高嶋 宏昌



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 本計画は株式会社「イワツギ」が「トータル」本社を新築し、より良い労働環境を形成するための計画である。エネルギー消費を抑えた省エネ設計とすることで、地域・地球環境に対しても優しい計画となるよう心掛ける。		その他 特になし。
Q1 室内環境 内装材は全体的に☆☆☆建材を使用し、喫煙スペースを設け、完全分煙とすることで室内の空気環境向上を促進する。また、開閉可能な窓を十分設けることで、自然換気性能の向上を図る。	Q2 サービス性能 内装計画において、求められるコンセプトを十分考慮したうえで、パースなどを用いた検討・計画を進める。また、更新性を向上させることでサステナブルな建築物を目指す。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の景観やまちなみに対し、悪影響を与えない計画とする。周辺との調和を意識するだけでなく、空地に良質な植栽を計画することで、敷地内の温熱環境向上を図る。
LR1 エネルギー 外皮の断熱性能を高めることで、日射や室内外の温度差による熱損失・熱取得の低減に努める。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を積極的に採用することで、非再生資源使用量削減に配慮した計画とする。	LR3 敷地外環境 省エネルギー設計から、運用時の二酸化炭素排出量低減を図り、地球温暖化防止に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-113

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)DBC本社ビル 新築工事					
	建設地	大阪府池田市満寿美町739番1					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.7	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	1.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.9
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						3.7
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								